

No.	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業						所属部	教育部				
								所属課	保健体育課				
								課長名	藤山 光隆				
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり				所属G(係)	スポーツ振興G				
	施策名	0	3	スポーツ、芸術文化の振興				電話番号	42-1111				
	基本事業名	0	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり									
予算科目	会計	一般	1	0	0	7	0	2	162090	事業名	社会体育振興費	法令根拠	特になし

**事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)**

市民の健康増進とスポーツ交流人口の増大及び上野原縄文の森の幅広い周知拡大を図る。  
 ・場所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心になって大会参加者への体験学習等行なっている。また、舞鶴なべの無料配布などを別途実施している。種目 ジョギングの部 3.0km (一般男子、一般女子、中学男子、中学女子、小学男子、小学女子)、駅伝の部 一般男子エリート 5区 16.2km、一般男子 7区 9.8km、一般女子・混成・中学男女 7区 9.8km、小学男女 9区 9.9km、参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)2,000円/人・中学生以下1,000円/人 駅伝の部 一般(中学生以上)6,000円/チーム・小学生 4,000円/チーム 主催は、縄文の森駅伝大会実行委員会です。市は補助金を交付している。

**事業期間**

単年度のみ  
 単年度繰返 ( H 3 年度 ~ )  
 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )

**1 現状把握の部 (DO)**

<b>(1) 事務事業の目的と目標</b>		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b>	
<b>手段(主な活動)</b>		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
事業の概要と同じ		ア 駅伝・ジョギング参加者数	
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		イ ジョギングコース(部門)の数	
前年と同様		ウ 駅伝コース(部門)の数	
<b>対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等</b>		<b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b>	
縄文の森駅伝大会参加者		名称	
<補助金交付先> 縄文の森駅伝大会実行委員会		単位	
<補助対象活動> 大会の運営に関する経費		ア 縄文の森駅伝大会参加者数	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	
ジョギングや駅伝を楽しんでもらう。		ウ	
上野原縄文の森を知ってもらう。		<b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b>	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		名称	
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる。		単位	
		ア ジョギング・駅伝を楽しんだ参加者数	
		イ イベント参加者数(舞鶴なべ等)	
		ウ	
		<b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b>	
		名称	
		単位	
		ア きっかけづくりの活動(スポーツ教室等)への参加者のべ人数	
		イ	
		ウ	

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,452	2,207	2,207		
事業費計(A)		千円	2,452	2,207	2,207			
活動指標		人	1,876	2,031	2,050	2,070	2,090	2,100
		イ コース部門	1(6)	1(6)	1(6)	1(6)	1(6)	1(6)
		ウ コース部門	1(8)	1(8)	1(8)	1(8)	1(8)	1(8)
対象指標		人	1,876	2,031	2,050	2,070	2,090	2,100
		イ						
		ウ						
成果指標		人	1,876	2,031	2,050	2,070	2,090	2,100
		イ	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		ウ						
上位成果指標		人	55,086	57,516	58,885	60,784	62,684	64,583
		イ						
		ウ						

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 平成4年3月にハイテク展望台の完成を記念し、多くの市民の方々に楽しんでもらうことを目的にテクノパークで「ハイテク展望台完成記念完走歩大会」として第1回目を開催。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 平成7年の第4回大会より協賛金を募り規模拡大している。平成10年3月に上野原テクノマラソンに名称変更、平成15年第12回大会より上野原縄文の森がオープンしたことにより縄文の森駅伝へ名称変更。また、本年より大会名称から国分を省き、縄文の森駅伝大会とした。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 <参加者> ジョギングへの意見(コースを延長してほしい。)駅伝への意見(区間のタイムを計測してほしい)  
 <関係者> 駅伝終了後、抽選会の参加者を増やす方法の検討が必要。縄文の森という場所を考慮し、自然・環境面への考慮が必要。

事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 参加者が健康づくりやスポーツを楽しむためのきっかけとなる大会であり政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市民の健康づくりの場として大会を行なうことは、健康を維持するよいきっかけであり、また、縄文の森で開催することで広くPRすることができるため市が行なうことが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ より多くの方に参加してもらおうという考えから現在の対象「縄文の森駅伝大会参加者」には、霧島市民のみならず駅伝・ジョギングを楽しみたい市外の方も含まれている。年々参加者も増えているイベントであるのでジョギングや駅伝を楽しんでもらう、上野原縄文の森を知ってもらおうという現状の意図を継続することが望ましい。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 参加者がけがや事故もなく楽しんでもらう大会にするため、参加者のアンケート内容や声を十分に検討し、より良い大会運営に心がけなければならない。そのためには、現状で満足するのではなく、向上心をもって運営していかなければならない。更に、できるだけ広く周知することで参加者を増やすことが可能。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 旧国分市時代からの開催は今年で18回目を迎え、駅伝大会としての知名度もあり、毎年市外・県外からの参加者が増えている。駅伝への参加のみならず、縄文の森や霧島市の観光を楽しんでもらういい機会でもあるため廃止すべきではない。駅伝やジョギングを楽しむ機会が少なくなる。中学生に関しては、市内で参加できる駅伝大会がなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 旧町(横川地区、溝辺地区)単位で行なっている駅伝大会、また周辺の他自治体が行なう駅伝大会などはあるが、霧島市民が参加できないものが多い。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 霧島市内で開催されるウォーキングやマラソン大会と統廃合することは可能だが、それぞれ開催する場所での意味合いが異なるため、早急に統廃合は困難と思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は全てが補助金額となる。大会の運営費は市の補助金のほかに、市内の多くの企業や事業所から協賛を頂き運営している。市が補助金を下げることで参加者の負担や協賛者側の負担が増えることが予想される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 合併後、運営に携わる担当職員が減っている現状にあり、やり方を十分検討しなければ業務時間の削減は困難な状況である。これまでも、中・高校生・体育指導委員など職員以外の多くの方々との協力を得て開催してきた大会である。市職員は、前日、当日の受付、運営だけでなく大会の企画、PR、協賛金の募集活動などの事務全般を担っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 受益者は大会への参加者であり、誰でも参加できるため、機会の公平性は確保されている。受益者負担額(参加料)に関しては、実行委員会が決定しているが、参加者1人あたり経費と比較すると特に駅伝に関しては、水準が低めとなっているため見直し余地はある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民の健康づくりとしてできた大会であり、駅伝大会として知名度もあり、安全面からも参加者が増えている。市の参加のあり方や受益者負担の見直しが必要

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 参加者も少しずつではあるが増えている。今後も色々な関係者の協力をえながら進めていきたい。 受益者負担(参加料)の協議 市外も含むPR活動の強化																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 寄付金集めで職員はもとより、国分地区体育指導委員の協力を頂いている。今後は全市の協力体制が必要になる。
---

No.	事務事業名		霧島美術展開催事業				所属部	教育部	
							所属課	文化振興課	
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	野村 定美	
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G	
	基本事業名	01	スポーツ・芸術活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
		一般	10	06	06	157090	文化振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間		
環霧島市町と県内の高校生以上の在住者から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する。実行委員会において、開催要綱決定 県内の画材店等での公募のためのポスター・チラシ作成 広報 搬入(受付作業) 審査 入賞作品展示 表彰式 搬出 実行委員会(精算事務)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (           年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (           年度 ~           年度)		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
第4回美術展の開催のための諸業務活動		ア	出品点数
シビックセンター市民ギャラリーでの展示及び表彰式			点
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		イ	出品者数
第5回美術展の開催			人
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
環霧島市町と県内の美術愛好家		名称	
		単位	
		ア	霧島市内及び環霧島市町の美術愛好家
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市民の美術に対する関心を高める		名称	
		単位	
		ア	美術展鑑賞者数
			人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる		名称	
		単位	
		ア	きっかけ作りの活動(芸術文化教室等)に参加したのべ人数
			人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	320	618	560		
		一般財源	千円	1,500	1,191	1,500		
事業費計(A)		千円	1,820	1,809	2,060			
活動指標		ア	点	322	312	340	350	350
		イ	人	181	179	200	200	200
		ウ						
対象指標		ア	人	1,300	1,300	1,400	1,500	1,500
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	人	1,300	780	860	900	900
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	人	21,441	22,530	23,319	23,470	23,143
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成16年に旧国分市制50周年を記念して、市の美術協会を中心として開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併に伴い、旧霧島町で開催されていた8号洋画展も合体して開催するようになり、出品者数も増加している。また、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
霧島市美術協会及び行政を主体として実行委員会を設置し、美術展の運営を行っているが、行政のみで運営してほしいという意見もある。	

事務事業名	霧島美術展開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	美術に触れる機会の提供は美術に関する知識と教養の向上につながる。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	鑑賞、発表する機会の提供は、文化振興の向上につながり妥当である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	美術に対する関心も高まっており、妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	美術愛好家の高齢化等で出展数は横ばいであるが、霧島美術展出展者が他の展示会等で入賞するなど、技術の向上が見られる。県内への周知を徹底し、特に若い美術愛好者へ募集を呼びかけていく。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	美術に対する感動・関心の向上により地域活性化に与える影響は大きい。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷	類似事務事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	19年度に会費を値上げしており、今後の会費の増額は見込めないが、ポスター・パンフレット等の作成について、用紙・内容の変更や配布先・配付方法の見直しをしたり、賞品数の減により事業費の削減は可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	共催である霧島市美術協会の高齢化で会場準備・展示作業をシルバーに依頼しているが、今後ますますシルバーに依頼する作業内容が増えるため、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市民を対象に開催されており、適正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	展示会場のスペース、審査から展示までの日程、職員の事務量は、これ以上望めないが、事業費の観点から見直す必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> ポスター・パンフレット作成にかかる仕様の見直し。 賞品数を減らすことにより、事務量・費用の減につながる。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 実行委員会への美術協会の関りあいの度合いと、実行委員会の構成について検討する必要がある。
--

No.	事務事業名	学校体育施設開放事業						所属部	教育部				
								所属課	保健体育課				
								課長名	藤山 光隆				
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり				所属G(係)	生涯スポーツG				
	施策名	0	3	スポーツ、芸術文化の振興				電話番号	42-1111				
	基本事業名	0	2	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり									
予算科目	会計	一般	1	0	0	7	0	2	162090	事業名	社会体育振興費	法令根拠	スポーツ振興法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										事業期間	
市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民であれば誰でも利用することができる。小学校(屋内32箇所・屋外34箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外13箇所) 合計92箇所 申込み方法: 国分地区においては各地区公民館を通じ申し込む。他の地区においては学校へ直接申し込む。・開放時間は学校行事の関係上、学校へ確認。・受益者負担										<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 40 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)									
19年度実績(19年度に行った主な活動) 事業の概要と同様									
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年同様									
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民のスポーツに親しむ機会が増える。									
結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツや芸術活動を行なう環境が整う。									
					活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
					名称				
					単位				
					ア 学校の体育施設の数				
					施設				
					イ				
					ウ				
					対象指標(対象の大きさを表す指標)				
					名称				
					単位				
					ア 人口				
					人				
					イ				
					ウ				
					成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
					名称				
					単位				
					ア 有効活用者数				
					延人				
					イ 有効活用団体数				
					団体				
					ウ				
					上位成果指標(結果の達成度を表す指標)				
					名称				
					単位				
					ア スポーツを行なう環境が整っていると考える市民の割合				
					%				
					イ				
					ウ				

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,316	1,996	1,863		
事業費計(A)		千円	1,316	1,996	1,863			
活動指標		施設	92	92	92	92	92	92
対象指標		人	127,259	127,941	127,736	128,383	128,640	128,868
成果指標		延人	113,494	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000
		団体	261	261	261	261	261	261
上位成果指標		%	42.4	42	42	42	42	42

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?									
昭和36年に制定されたスポーツ振興法第13条によると、学校教育に支障のない限り学校のスポーツ施設を一般のスポーツの利用のために供するよう努めなければならないとされており、これに基づき昭和40年から学校体育施設開放の取り組みを開始した。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?									
体育施設が建設されてから年数が経過しており、整備・改修を要する施設が増えている。									
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?									
<利用者> 利用報告書式が複雑なため簡素化してほしい。人口密度の高い地域においては利用頻度が高く、なかなか借りられない状況にあるため、どうかしてほしい。									

事務事業名	学校体育施設開放事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 身近なスポー活動の場を提供し、生涯スポーツの推進を図ることができるため、政策体系と結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民がスポーツを通じ健康づくり・仲間づくりをする身近なスポーツ活動の場として利用しているため、公共関与は必要である。また維持管理に要する費用の一部を市が負担することは妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 身近なスポーツ施設を利用したい全ての市民を対象とした事業であるため、現在のままで妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 上場・下場で利用頻度の差が多少はあるが、ほとんどの学校で利用があり、現状水準がほぼ上限であると思われる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 300団体以上の利用があり、学校によってはほぼ毎日利用があるため、廃止・休止した場合多くの市民がスポーツをする場なくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費としては、各学校へ施設の維持管理に要する消耗品費の1万円と管理指導員へ1日あたり200円の報償費を支払っているが、これ以上の削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 管理指導員に対し、1日200円の報償費を支払っているが、この単価はかなり低い水準である。また、日数については250日を上限としてあるため、それ以上の利用があった場合無償での管理をお願いしているのが現状であり、これ以上の削減はできない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 定期的に利用する市民を対象に開放しているため一部の受益者に偏ってはいない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	身近なスポーツ活動の場として学校体育施設を開放しているが、施設の利用頻度は高く、今後も継続していく必要がある。																							
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
<改革改善案> 活動団体は活動拠点(地元)の近くの施設利用を希望しているので、今後も調整して開放施設側の理解を得ていく。																									

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策



事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	市民会館は独立した施設であり、事業の統廃合はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	経年劣化に伴うメンテナンスが必要である。安全管理上、今後とも計画的な整備が必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 施設の管理において、指定管理者と連携を図り、経費節減並びに計画的な施設整備に努め、安心安全な施設運営を行う。																		
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
年次的な整備計画に基づく予算配分が必要である。

No.	事務事業名	スポーツ少年団育成事業				所属部	教育部						
						所属課	保健体育課						
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり			課長名	藤山 光隆					
	施策名	0	3	スポーツ、芸術文化の振興			所属G(係)	生涯スポーツG					
	基本事業名	0	3	スポーツ、芸術文化団体の育成			電話番号	42-1111					
予算科目	会計	一般	1	0	0	7	0	2	162090	事業名	社会体育振興費	法令根拠	特になし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										事業期間	
スポーツを通して青少年の健全育成を図るために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図ることを目的とする事業。【登録料】団員：一人当たり(日本スポ少300円・県スポ少300円・市スポ少100円)、指導者：一人当たり(日本スポ少700円・県スポ少400円・市指導協1,000円)、単位団：一団体当り(市スポ少1,000円)、平成20年度登録受付開始 4月23日～登録締切5月30日まで、追加登録受付6月2日～追加登録締切7月18日まで、スポーツ少年団育成費基準【育成費】(団員：一人当たり300円)(単位団：一団体当り12,000円)、スポーツ少年団の登録窓口 霧島市教育委員会 保健体育課										<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 40 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)									
19年度実績(19年度に行った主な活動)									
指導者育成研修会・交歓大会・フェスティバル大会の実施 登録競技種目									
20年度計画(20年度に計画している主な活動)									
前年同様									
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等									
市スポーツ少年団員(市内小・中・高校生) <補助金交付先> 市スポーツ少年団(登録団体) <補助対象活動> 団体の運営									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)									
基礎体力を高める。 奉仕活動等への関心を高める。 スポーツへの関心を高める。									
結果(どんな結果に結び付けるのか)									
スポーツ活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。									
活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
名称									
単位									
ア 指導者育成研修会・交歓大会・フェスティバル数									
回									
イ 競技種目数									
種目									
ウ									
対象指標(対象の大きさを表す指標)									
名称									
単位									
ア 市内の小・中・高校生の数									
人									
イ 登録団員数									
人									
ウ 単位団数									
団									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
名称									
単位									
ア 基礎体力が向上した団員数									
人									
イ 奉仕活動をした団員数									
人									
ウ スポーツへの関心度が高まった割合									
%									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)									
名称									
単位									
ア スポーツ団体・組織の数									
団体									
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,345	2,115	2,115		
事業費計(A)		千円	2,345	2,115	2,115			
活動指標		ア 回	3	4	3	3	3	
		イ 種目	14	14	14	14	14	
		ウ						
対象指標		ア 人	21,803	21,559	21,580	21,500	21,500	
		イ 人	2,242	2,053	1,926	1,900	1,900	
		ウ 団	105	99	98	98	98	
成果指標		ア 人	未把握	未把握	1,500	1,550	1,600	
		イ 人	未把握	179	172	180	185	
		ウ %	未把握	未把握	50	55	60	
上位成果指標		ア 団体	226	220	226	145	145	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?									
きっかけは、スポーツを通じ仲間づくりや青少年期におけるスポーツの楽しさを知る機会を増やすことを目的として開始。スポーツ少年団への補助を開始した時期は昭和40年									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?									
少子化の傾向にあるため、一単位団の団員数が伸び悩んでいる。									
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?									
競技種目によっては、団員不足により単位団としての活動が難しくなっているものもある。									

事務事業名	スポーツ少年団育成事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	青少年の健全育成のため大切な事業であるが、少子化等で団員不足が起きている。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 少子化や一部の地域で過疎化が進み、団員数の不足が懸念されるため、統合やスポーツクラブの活動が必要と思われる。																			

No.	事務事業名	霧島市国分少年少女合唱団運営事業				所属部	教育部						
						所属課	文化振興課						
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり			課長名	野村 定美					
	施策名	0	3	スポーツ、芸術・文化の振興			所属G(係)	芸術文化					
	基本事業名	0	3	芸術文化団体の育成			電話番号	42-1111					
予算科目	会計	一般	1	0	0	6	0	6	157090	事業名	文化振興費	法令根拠	特になし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										事業期間	
霧島市国分少年少女合唱団に運営費の補助として補助金の支出と運営の支援を行っている。合唱団は市内の小学3年生から中学3年生までを対象として団員を募り、原則毎月第2・4土曜日を練習日としている。成果の発表として、鹿児島県合唱連盟主催の合唱祭や地区の文化祭等に出演している。										<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 8 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																					
手段(主な活動)					活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																
19年度実績(19年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様					<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>演奏会の開催</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td>練習回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	演奏会の開催	回	イ	練習回数	回	ウ		
名称		単位																			
ア	演奏会の開催	回																			
イ	練習回数	回																			
ウ																					
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度同様					<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>児童数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>生徒数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	児童数	人	イ	生徒数	人	ウ		
名称		単位																			
ア	児童数	人																			
イ	生徒数	人																			
ウ																					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・合唱団員 ・霧島市内の音楽(合唱)に興味のある小・中学生 【補助金交付先】霧島市少年少女合唱団 【補助対象活動】合唱練習及び演奏会等の出演					<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>活動している団員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	活動している団員数	人	イ			ウ		
名称		単位																			
ア	活動している団員数	人																			
イ																					
ウ																					
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童生徒に文化活動に親しむ機会を与え、心豊かな青少年育成と音楽文化水準の向上を図る					<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>芸術文化団体・組織の数</td><td>団体</td></tr> <tr><td>イ</td><td>団体・組織の会員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>					名称		単位	ア	芸術文化団体・組織の数	団体	イ	団体・組織の会員数	人	ウ		
名称		単位																			
ア	芸術文化団体・組織の数	団体																			
イ	団体・組織の会員数	人																			
ウ																					
結果(どんな結果に結び付けるのか) ・芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。 ・芸術文化活動に取り組む仲間が増える。																					

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	22年度(見込)	23年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	162	145	136		
事業費計(A)		千円	162	145	136			
活動指標		ア 回	6	6	5	5	5	5
		イ 回	29	30	32	32	32	32
		ウ						
対象指標		ア 人	8,209	8,125	8,125	8,053	7,909	7,832
		イ 人	4,067	4,098	4,098	4,040	4,057	4,095
		ウ						
成果指標		ア 人	50	46	40	40	40	40
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 団体	243	243	246	246	253	253
		イ 人	4,474	4,472	4,439	4,433	4,453	4,453
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 児童生徒の健全育成を推進するために、旧国分市を中心に結成された。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 文化活動(音楽)に対して興味を持つ児童生徒の減少に伴い、団員が減少してきている。									
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 公民館教室として、隼人及び横川地区に合唱教室が開設され運営している。今後は、霧島市の合唱団として統合しての運営を検討する必要がある。									

事務事業名	霧島市国分少年少女合唱団運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	合唱団の設置により、年間を通じて合唱の練習に取り組むことは青少年の健全育成につながる。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 青少年の健全育成は、学校教育との両輪であり、活動補助金の支出は妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 団員については、市内一円で募集している。また、対象についても小中校生で構成しており妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 団員確保により、青少年が異年齢の集団の中で活動することは、仲間づくりや青少年の文化向上に期待できる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 青少年の合唱団活動の停滞が予想される。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 団員の年会費の値上げにより補助金の削減は可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 合唱団の保護者による育成会の充実により、担当職員の事務量を削減できる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市内の全校児童生徒を対象に団員を募集している。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合唱団結成後、12年を経過している。組織体制のあり方や運営内容について検討する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
設置目的を明確にし、自主運営できる組織体制を整備する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
団員が児童生徒のため、指導者及び保護者による活動の支援が必要であるが、運営体制が確立されていない。